

# 住宅用火災警報器の点検をしましょう！

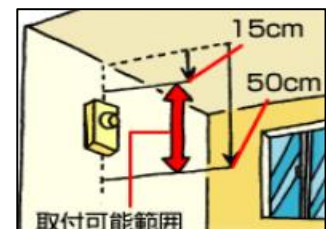
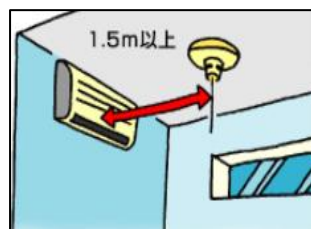
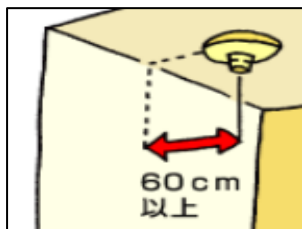
住宅火災により亡くなられる原因の多くは、逃げ遅れによるものです。

これを防止するために、住宅用火災警報器の設置が平成23年6月1日に義務付けられました。義務設置から10年以上経過した今、ご家庭に設置されている住宅用火災警報器を確認してみましょう。

住宅用火災警報器の適切な設置場所と点検方法は、次のとおりです。

## ▶適切な取付位置

- ・ 壁，はりから 60cm 以上離れた場所
- ・ 換気口等の吹き出し口から 1.5m 以上離れた場所
- ・ 壁に取り付ける場合は，天井から 15～50cm 以内の場所



## ▶適切な取付場所

- ・ 寝室（全てに設置が必要です。）
- ・ 2階に寝室がある場合は，**階段**に設置が必要です。



## ▶点検方法

- ・ 本体にある点検ボタンを押す。または，紐を引っ張る。
- ・ メッセージ，または，警報音を確認する。



※住宅用火災警報器は，機器が古くなると，電子部品の寿命や電池切れなどにより火災を感知しなくなる場合もあります。

定期的な点検を行い，設置から 10 年経過した住宅用火災警報器は，**本体の交換**をお願いします。

---

適切に住宅用火災警報器を設置，点検し火災から命を守りましょう！

---